

二神通信

校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校
学校通信 第 42 号
令和 1 年 11 月 8 日 (金)
文責 校長 阿部 幸士

～ 10月29日(火)の市内中学校音楽会で、二中生らしい合唱を披露しました ～



今年度の二中生が奏でる合唱にも、【聴く人の胸に響く、思いがこもった合唱】の伝統は息づいていたと思います。
決して人数は多くありませんが、二中生の合唱には一人一人の思いがこもっているように感じます。悩んだり苦しんだり、時には仲間とぶつかり合ったり、それでも頑張っって前を向く気持ちが、合唱の歌詞とメロディーによって聴く人の胸に響いてくるように感じます。

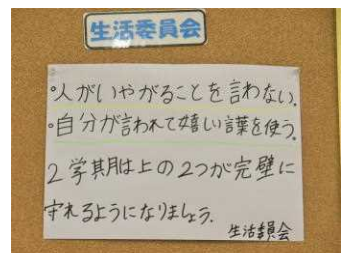
～ 水晶祭をやりとげ、11月に入り、二中生がこれから大切にしていきたいことは ～

今年度の第二中学校の生活がスタートしてから、二中生は多くの行事や活動を経験し、先月には水晶祭という大きな意味を持つ取り組みをやりとげました。

その中で、二中生は、それぞれの思いを持ち、出し合い、時に悩んだり、時にぶつかり合ったりしながらも、【相手の気持ちをまず受けとめる】【すぐに感情だけで返事をするのではなく、相手の気持ちを考えながら自分の考えを返す】経験を繰り返し重ねてきました。

右の写真にあるような、第二中学校生徒会の生活委員会が日常活動として提起しているその内容が、水晶祭の活動をとおして試され、鍛えられ、少しずつ中身のともなったものへと成長してきていると信じています。

そして、これからは各学年に、その成長がさらに試される場面がやってくるのです。



3年生には → いよいよ自分の進路希望実現に向けた頑張りが求められる時期になります。そして、誰もが悩み苦しむ時期でもあります。でも、その悩みや苦しみを乗り越えなければいけません。その力はどこにあるのでしょうか。もちろん自分自身にも必要ですが、苦しい時だからこそ、周りの仲間からの声かけにあるのだと思います。仲間だからこそ、自分にも苦しさはあるけれど、同じように苦しんでいる仲間の気持ちがわかり、「一緒に頑張ろう！」という気持ちと声かけができるし、それが何よりの力になると思います。

1年生には → 2学期も残り40日程度になり、だんだん来年のことが頭に浮かんでくる時期になってきました。来年がくれば、1年生も先輩になる時期が近づいてきます。自分たちがよく知っている後輩が第二中に入ってきた時に、仲間としての支え合いや励まし合いの声かけがしっかりできる姿を、仲間としての絆やつながりが強く太い姿を見せることができるかが勝負です。なぜならば、小学校とは違い中学校は、自分たちに任された役割や仕事を、自分の力で仲間の力でやりとげていかなければならない場所だからです。

2年生には → 何と言っても、中学校生活最大の思いでづくりの修学旅行が目の前です。修学旅行の準備の段階から旅行が終了するまでの全ての場面で、自分たちの声かけのあり方が、仲間としての支え合いとつながる姿が試されるのだと思います。支え合いとつながりが強くなればなるほど、自分たちの思い出が素晴らしいものになっていくに違いありません。2年生が掲げたテーマの New step が素晴らしい思い出へのステップになることを信じています。



来週の月曜日(11月11日)は「おにぎり弁当の日」です!

「お弁当の日」の計画を立てよう。

おにぎり弁当

(4人-6人)

- 自分で炊いたごはんでおにぎりをつくる
- おかずのうち1品以上自分でつくる

お弁当を作るには

何を(おかず)準備し入れろか

弁当箱(お弁当箱)を準備する

料理器具をそろえる(フライパン等)

早起きする... 早寝する

前日にアタラシくしておく(ごはんセット)

食材をそろえておく

ポイント

- 簡単にできる
- バランスをととのえる
- いろどり
- 安全... 衛生(手洗いなど)
- 自分で作れる



*保護者の皆様方へ

生徒たちは、「おにぎり弁当の日」に向けた事前授業で、自分で作る計画を立てています。土曜日・日曜日の間で生徒たちが準備をしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。